



Rafał Blechacz
Piano Recital

ラファウ・ブレハッチ
ピアノ・リサイタル

2026年 1月29日(木) 19:00開演 東京芸術劇場コンサートホール
7:00p.m., Thursday, January 29, 2026 at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

2026年 2月3日(火) 19:00開演 サントリーホール
7:00p.m., Tuesday, February 3, 2026 at Suntory Hall

主催：ジャパン・アーツ

後援：駐日ポーランド共和国大使館 / ポーランド広報文化センター

協力：ユニバーサル ミュージック



50

おかげさまで50年
JAPAN ARTS

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」

L. v. Beethoven: Piano Sonata No.14 in C-sharp minor, Op.27-2 "Moonlight"

- 第1楽章：アダージョ・ソステヌート 1st Mov.: Adagio sostenuto
- 第2楽章：アレグレット 2nd Mov.: Allegretto
- 第3楽章：プレスト・アジタート 3rd Mov.: Presto agitato

シューベルト：4つの即興曲 Op.90, D899

F. Schubert: 4 Impromptus Op.90, D899

- 第1番：アレグロ・モルト・モデラート、ハ短調 No.1: Allegro molto moderato, in C minor
- 第2番：アレグロ、変ホ長調 No.2: Allegro, in E-flat major
- 第3番：アンダンテ、変ト長調 No.3: Andante, in G-flat major
- 第4番：アレグレット、変イ長調 No.4: Allegretto, in A-flat major

* * *

ショパン：舟歌 嬰へ長調 Op.60

F. Chopin: Barcarolle in F-sharp major, Op.60

バラード第3番 変イ長調 Op.47

Ballade No.3 in A-flat major, Op.47

3つのマズルカ Op.50

3 Mazurkas Op.50

- 第1番：ト長調 No.1: in G major
- 第2番：変イ長調 No.2: in A-flat major
- 第3番：嬰ハ短調 No.3: in C-sharp minor

スケルツォ第3番 嬰ハ短調 Op.39

Scherzo No.3 in C-sharp minor, Op.39

ラファウ・ブレハッチ 日本公演

1月23日(金)	[名古屋]	愛知県芸術劇場 コンサートホール	主催：中京テレビクリエイション
1月25日(日)	[所 沢]	所沢市民文化センターミュージズ アークホール	主催：公益財団法人所沢市民文化振興事業団
1月26日(月)	[川 崎]	ミュージアム川崎シンフォニーホール	主催：神奈川芸術協会
1月28日(水)	[札 幌]	札幌コンサートホール Kitara	主催：TVhテレビ北海道
1月29日(木)	[東 京]	東京芸術劇場コンサートホール	主催：ジャパン・アーツ
1月31日(土)	[大 阪]	住友生命いずみホール	主催：ABCテレビ
2月1日(日)	[米 子]	米子コンベンションセンター 多目的ホール	主催：新日本海新聞社、BSS山陰放送
2月3日(火)	[東 京]	サントリーホール	主催：ジャパン・アーツ



©Marco Borggreve

ラファウ・ブレハッチ (ピアノ)

Rafał Blechacz, Piano

2005年、第15回ショパン国際ピアノ・コンクール優勝。マズルカ賞、ポロネーズ賞、コンチェルト賞、ソナタ賞(クリスチャン・ツイメルマンにより創設)、聴衆賞と全てを同時受賞。同世代で最高のショパン弾きと称される。

また、2014年には、4年に1度、年齢や国籍に関係なく、卓越した優れたコンサート・ピアニストに贈られるギルモア・アーティスト賞を受賞した。

これまでに、ロンドン・フィル、バーミンガム市響、パリ管、ベルリン・ドイツ響、フランクフルト放響、ドイツ・カンマーフィル、ドレスデン・フィル、マラー室内管、ウィーン放響などと共演し、シャルル・デュトワ、ワレリー・ゲルギエフ、ダニエル・ハーディング、パーヴォ・ヤルヴィ、ファビオ・ルイーゼ、アンドリス・ネルソンス、ミハイル・プレトニョフ、ケント・ナガノなど世界的な指揮者と共演。

また、ベルリン・フィルハーモニー、パリのサル・プレイエル、ロンドンのウイグモアホール、アムステルダムのコンセルトヘボウ、ミラノ・スカラ座、ウィーン・コンツェルトハウスなど、世界の主要なコンサートホールの他、アメリカやアジアでもリサイタルを行っている。

ドイツ・グラモフォンの専属録音アーティスト。ショパンの前奏曲集を録音したデビュー盤は、ポーランドでプラチナ・レコードに認定され、ドイツのエコー・クラシック賞やフランスのディアパソンドール賞を受賞。また、イェジー・セムコフ指揮ロイヤル・コンセルトヘボウ管とのショパン：ピアノ協奏曲の録音は、ドイツ・レコード批評家賞を受賞。最新アルバムは、2025年10月にリリースの「ショパン：マズルカ」。

批評家たちからはこれらまでの芸術的功績を讃えてキジアナ音楽院国際賞(イタリア)を2010年に贈られる。2015年には、ポーランド共和国大統領メダルであるポーランド復興勲章カヴァレルスキ十字勲章を授与された。



Rafał Blechacz

原 明美 (音楽評論家)
Akemi Hara

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2「月光」

ドイツのボンに生まれ、ウィーンで世を去ったルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)のピアノ・ソナタのなかで、第14番は、第13番(Op.27-1)と共に「幻想曲風ソナタ」として書かれ、1801年に完成し、伯爵令嬢ジュリエッタ・グイッチャルディに献呈された。自由な発想が大胆な形で現れたこのソナタは、3楽章から成り、「月光」の愛称で親しまれているが、これは、詩人のレルシュタープが第1楽章を、ルツェルン湖にかかる月の光にたとえたことに、由来するという。

第1楽章：アダージョ・ソステヌート。嬰ハ短調、自由な3部形式。従来のソナタ形式の第1楽章とは異なり、静かで荘重な緩徐楽章としての役割を持つ。

第2楽章：アレグレット。変ニ長調、3部形式。愛らしい楽想と、生き生きとした動きが印象的。

第3楽章：プレスト・アダート。嬰ハ短調、ソナタ形式。感情の激しい高まりを表したようなフィナーレ。

シューベルト：4つの即興曲 Op.90 D899

ウィーンで活躍したフランツ・ペーター・シューベルト(1797-1828)は、歌曲を発展させたことで名高いが、ピアノ曲にも、歌曲を思わせる旋律美があふれている。そのなかで特に親しまれている即興曲(アンプロムプチュ)は、Op.90とOp.142に4曲ずつあり、1827年に作曲された。「即興曲」は出版社がつけた標題であり、4曲ずつの出版も本人の意思ではなかったというが、歌謡的なロマンティズムに満ちた魅力的な曲集である。Op.90(D899)としてある4曲は、通して演奏されると4楽章制のソナタのような印象も与える。

第1番：アレグロ・モルト・モデラート。ハ短調、自由な変奏曲形式。堂々とした曲想が印象的な即興曲。

第2番：アレグロ。変ホ長調、3部形式。なめらかに流れる主部の間に、舞曲風の短調の中間部をささむ。最後に再び中間部が現れ、短調のまま力強く終わる。

第3番：アンダンテ。変ト長調、3部形式。歌曲風の旋律美が注目される一方、優雅な雰囲気も漂う。

第4番：アレグレット。変イ長調、3部形式。流麗な美しさがきわ立つ即興曲。臨時記号でCのフラットが付いているために、変イ短調の響きで進む。

ショパン：舟歌 嬰ハ長調 Op.60

ポーランドのワルシャワ近郊ジェラゾヴァ・ヴォラに生まれたフレデリック・ショパン(1810-49)にとって、ピアノという楽器は最も重要な表現手段であり、作品の大半はピアノ曲だった。その数々の傑作のなかで、「舟歌」は、1845-46年に作曲された嬰ハ長調の1曲だけであり、ドゥ・シュトックハウゼン男爵夫人に献呈された。ヴェネツィアの gondola の船頭の歌に由来する舟歌(バルカロール)は、本来は8分の6拍子だが、ショパンは8分の12拍子で書いており、その旋律線は、息が長く、即興的なものとなっている。曲は、夢想的な序奏に始まり、舟歌らしい流麗な伴奏に乗せて、優美でロマンティックなメロディーが続く。中間部での巧みな転調や、コーダでの和声の美しさなども印象に残る。

ショパン：バラード第3番 変イ長調 Op.47

バラードは元来、「物語詩」を意味する。ショパンの残した4曲のバラードは、文学のバラードの持つ「物語」としての特色も含んでおり、同じポーランド出身の詩人アダム・ミツキエヴィチの叙事詩にヒントを得て作曲された、とも考えられている。変イ長調で書かれた第3番は、1840-41年に作曲され、ポーリーヌ・ドゥ・ノアイユ嬢に献呈された。優美な主題が、転調を交えながら展開し、4曲のバラードのなかで最も明るい作風を印象づける。

ショパン：3つのマズルカ Op.50

ポーランドのマゾフィア地方に古くから伝わるマズールという踊りに端を発するマズルカは、歌を伴いながら自由闊達な雰囲気の中で踊られる農民の踊りだったという。ポーランド出身のショパンは、少年時代からマズルカを書き始め、その作曲は、故郷を離れてパリに赴いてからも続き、死の年にも及んだ。生涯の後半を主にフランスで過ごした彼は、祖国に帰れぬまま世を去ったが、革命のさなかにあった故郷を思い続けていたのである。そして、全部で58曲ほどあるショパンのマズルカには、祖国の舞曲を普遍的な芸術作品へと高めた、様式化の跡がうかがえる。舞曲本来の性格をふまえ、すべて4分の3拍子で、また大半が3部形式で書かれているが、各曲には、さまざまな工夫の凝らされた手法や、多様な情緒表現などが見いだせる。

Op.50としてある3曲は、1841-42年に作曲され、レオン・シモコウスキに献呈された。ショパンの円熟した作風を如実に感じさせるマズルカ集である。

第1番：ト長調。簡潔な書法のなかにも、喜ばしい気分を漂わせる。

第2番：変イ長調。高い気品を感じさせる1曲であり、中間部が特に舞曲風である。

第3番：嬰ハ短調。舞踏的な性格がほとんど見られず、対位法的な書法が目立つマズルカ。規模の大きさも注目される。

ショパン：スケルツォ第3番 嬰ハ短調 Op.39

ショパンの残した4曲のスケルツォにも、彼の創造的なピアノニズムが反映されている。「冗談」「諧謔」といった意味の「スケルツォ」は、器楽曲では元来、軽快で開放的な曲や楽章として用いられていた。しかし、ショパンのスケルツォは、これとは対照的に暗い情熱を帯び、深刻な雰囲気が漂い、心の葛藤を描いたような音楽と言えよう。そして、激しく情熱的な楽想と、繊細優美な楽想とのコントラストが、共通する聴きどころであり、多彩な転調なども交えながら、緊張感に富むドラマを展開する。

嬰ハ短調のスケルツォ第3番は、1839年の作であり、「友人に」という言葉を添えてアドルフ・グートマンに献呈された。意表をついた序奏に始まるこのスケルツォは、自由なソナタ形式で書かれている。暗く扇動的な第1主題、繊細優美な第2主題、この両者のコントラストや、変化に富む転調などが特徴的である。



【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

これからも引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしく申し上げます。

アーティストサポートの詳細はこちらをご覧ください。

◆ ◆ ◆ ◆ 2025年度ご支援いただいた皆さま ◆ ◆ ◆ ◆

<年間サポート>

【個人サポーター】

朝妻 幸雄 天野 雅子 伊藤 直美 M.I. 岩村 和央 K.U. 上村 憲裕 内永 太洋 榎本 英二 Y.E. K.O.
大原 志津子 片山 由美子 K.K. 神田 尚子 北村 眞 工藤 章子 小林 真希子 R.K. 相良 延利 新貝 康司
鈴木 忠明 M.T. R.T. 武田 健二 伊達 朱実 田中 治郎 東條 Lilly K.T. トゥルーラブ 真智子 苫米地 英人
K.N. 中村 京子 E.N. 児子 弥生 S.N. 長谷川 智子 A.H. T.H. 樋口 美枝子 M.H. 平山 美由紀 藤野 盾臣
細沼 康子 堀之内 優子 M.H. 松尾 芳樹 E.M. K.M. 真野 美千代 三木谷 晴子 水野 靖彦 安田 牧子
山川 和子 山崎 明日香 横谷 雅子 Akiko Yoshikawa Y.Y
(匿名希望 24名)

【法人サポーター】

三和プリンティング株式会社 株式会社 青林堂
三井住友カード株式会社 ロイヤルリゾート株式会社
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント きづきアセット株式会社
株式会社ロジックアンドエモーション ライフプラン株式会社

<館野泉パースデープロジェクト「みんなで祝おう! 卒寿記念コンサート」>

天野 雅子 池戸 真理子 一柳 吉子 稲垣 美晴 えこ 上原 洋子 植村 月枝 岡村 茉莉奈 木全 恵美子
CATHERINE CATES 久間 和子 久保 春代 坂井 和 佐々木 暁子 澤井 みのり スオミ・ピアノ・スクール研究会 鈴木 早苗
高橋 理都子 田邊 英利子 照井 はるみ K.T. 中村 康江 日本シベリウス協会 橋本 利明 服部 喜恵子 林 幸仁 原田 君代
平山 美由紀 福田 誠 藤澤 ふさ子 真野 美千代 丸山 康 安田 牧子 湯本 早百合 H.W.
館野泉ファンクラブ 館野泉ファンクラブ九州 館野泉ファンクラブ北海道 タビオラの会
(匿名希望 4名)

【法人サポーター】

ミサワホーム株式会社 日本フェルト株式会社
AGCグラスプロダクツ株式会社 三和シャッター工業株式会社 株式会社スルガ
DAIKEN株式会社 ニチハ株式会社 株式会社 LIXIL
エイベックス・クラシックス・インターナショナル株式会社 株式会社オクタヴィア・レコード ヤマハ株式会社

<ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

石坂 雅美 K.I. K.K. Y.K. 佐久間 隆弥 Rimiko N.S. 竹内 麻里子 中尾 吾吾 T.H. 樋口 美枝子 K.F.
細沼 康子 M.H. M.M. 水足 久美子 水足 秀一郎 ロロコミ
(匿名希望 11名)

<ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

江田 明子 T.O. K.K. 佐久間 隆弥 Rimiko M.T. 平山 美由紀 細沼 康子 M.M. 柳瀬 美佐子 ロロコミ
(匿名希望 9名)

<千住真理子に「花を贈ろう!」プロジェクト>

石坂 雅美 北村 眞 城戸 健二 桑原 仁志 小森 桂子 佐藤 亨 田中 治郎 H.H. 道又 利 村上 晃彦 横田 邦子
(匿名希望 7名)

2026年1月18日現在 敬称略

お知らせ

現在2025年度年間サポートを受付中です。詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 TEL.03-3499-7720 (平日11:00~17:00 年末年始を除く)